

一人ひとりの夢・思いを大切に

しなふくニュース

編集人 しなふくニュース編集委員会 発行人 永田 元
発行所 品川総合福祉センター 〒140-0003 東京都品川区八潮5-1-1
電話 03(3790)4839 法人URL <http://www.shinafuku.com> E-mail info@shinafuku.org



2019年
しなふく
紅葉フェスタ



(一)らうんじ
(二)新年の挨拶
(三)働きやすい職場宣言
しなふく紅葉フェスタ報告
(四)しなふくさんぽVol. 4
(五)ボランティア紹介・
大井三丁目紹介④
(六)豆知識・しなふくの窓
ボランティア講座案内



らうんじ

明けましておめでとうございます。法人が三年間に取り組むべき重点課題である中長期計画も丁度折り返し点を迎えます。第一の「利用者の人権を守る、権利擁護、虐待防止」は、利用者が尊厳を尊重され、幸せな生活が送れるように支援する取り組みです。職員一人ひとりが利用者本位のサービスを提供するため、一層のサービス向上に努めてまいります。第二の「人材の確保、育成、定着」は、サービス提供の要である職員の確保、育成、定着を図る取り組みです。職員の給与改善に取り組んでいるものの人材を確保することは難しい状況にあります。品川区を始めとして介護専門学校や地域の法人等と連携を図りながら取り組んでまいります。第三の「収支改善」は、利用者の皆さんに質のよいサービスを提供し続けるためには、法人の経営が安定し継続していくことが重要です。サービスの質や内容を検証するとともに、経費の徹底的な見直し等を行い、収支の安定化を図ってまいります。引き続きご支援・ご協力のほどお願い申し上げます。



理事長
永田 元

新年の挨拶



常務理事
小野 孝

あけましておめでとうござ
います

皆様には、お健やかに新し
い年をお迎えになられたこと
とお慶び申し上げます。

昨年は、三年間の実施計画
として策定した「中期経営計
画」の一年目であり、①利用
者の人権を守る、権利擁護・
虐待防止 ②人材の確保、育
成、定着 ③収支改善 の重
点課題に、分科会を設け組織
を挙げて取り組んで参りまし
た。

今年も、「やるべきことを
しっかりやる」をモットーに
して、課題の確実な達成に向
け、なお一層の努力をして参
りたいと存じます。

皆様のご支援をよろしくお
願ひいたします。



事務局次長
加藤 久明

新年のお慶びを申し上げます。
昨年中は法人運営に際し、
多くの皆様のご厚情に心より
感謝申し上げます。

現在、法人の中期経営計画
の人材部会では、「人材」の
採用、育成、定着の促進・解
決に向け対応策を検討し、具
体案を作成し実施します。

当法人の事業は「人」が
「人」を支援する対人援助サ
비스が中心です。良い「人」
を採用し、良い「職員」（法
人理念の具現化を進められる）
に育成し、気持ちよく働ける
環境を整え、働き続けてもら
うことが法人の継続に不可欠
です。当業界の人材不足はさ
らに激化することが予見され
ます。広告、採用範囲を拡大
考えられることすべてを実行
し、良い「後継者」を得たい
と思っています。

本年も何卒よろしくお願ひ
いたします。

2020オリンピック・パラリンピックに向けて

《高齢者施設統括施設長》

「みんなで一つ」

昨年のラグビーワールドカッ
プでは、ONTEAM（ワ
ン・チーム）という言葉が心
に残りました。一緒に働いて
いる施設の職員同士も、お互
いがそれぞれの得意な面を出
し合い、お互いを支え高め合っ
て「みんなでひとつ」のチー
ムとして、課題や難題を乗り
越えていきたいと思っています。

宮田健一

《障害者施設統括施設長》

今年はオリンピック、パラ
リンピックが開催されます。
4年間のたゆまぬ努力を实ら
せ活躍するアスリートたちに
負けないよう、品川総合福祉
センターも大きく前進の年に
したいと思っています。

今年はずみ年。小さなこ
ともにもまめに対応して、利用
者の皆様が元気に楽しく生活
できるよう支援致します。

長野美行

待ちにまつたオリンピック
・パラリンピックがやってき
ます。

会場がある品川には国内外
の様々な人が集まって来るこ
とと思います。私たちが作っ
ている商品や作品、取組んで
いる事をアピールして、新し
い経験や出会いができると素
敵ですね！

印象に残る一年を期待して！

松木利彰

菊池広美

認定

働きやすい福祉の職場宣言事業所

「TOKYO働きやすい福祉の職場宣言事業」とは働きやすい職場づくりに取り組むことを宣言する高齢・児童・障害分野の施設・事業所を東京都が公表する事業です。

働きやすさの指標となる項目を明示した都独自の「働きやすい福祉の職場ガイドライン」を踏まえ、

人材育成、キャリアアップ、ライフ・ワーク・バランス等、働く人にやさしい職場づくりに積極的に取り組む事業所として、福祉人材バンク「ふくむすび」への掲載、都主催のイベント等で積極的にPRされます。

これにより事業所のイメージと知名度がアップします。

当法人の全事業所、全事業において、令和元年八月三〇日付の公



よりよい職場作りをめざします！

表通知書をいただきました。

今後は法人館内、館外を問わずアピールすることが可能になります。すでに各事業所での掲示を始めておりますが、今後車輛や名刺等へのロゴマークの掲載など、幅広く広報活動をおこなっていきます。

一方では、宣言をするこにより責任が発生いたします。今後も法人全体で、より働きやすい職場づくりを、継続していく必要があります。法人一丸となり、社会全般の人材不足の状況の中でも、より良い人材の獲得を目指していきたいと思っております。

しなふく紅葉フェスタ報告



模擬店も大盛況

去る10月27日(日)天候が心配されましたが、無事「しなふく紅葉フェスタ」が開催されました。屋外のステージでは、日立ソリューションズ吹奏楽団の皆様による「HERO」の曲でスタート。利用者&地域の方による森のひかりの舞踊やファッションショー、ゲーム大会のほか、日本橋中学校の躍動感あふれるダブルダッチ、あまりの華やかさに目が離せなかったサンパチーム「フェスタンサー」の皆様、今年35周年を迎える八潮太鼓之会の子供の部の皆様が来てくださいました。更にステージの最後には、岩手県被災地のふるさと大使のほか、全国各地でご活躍中

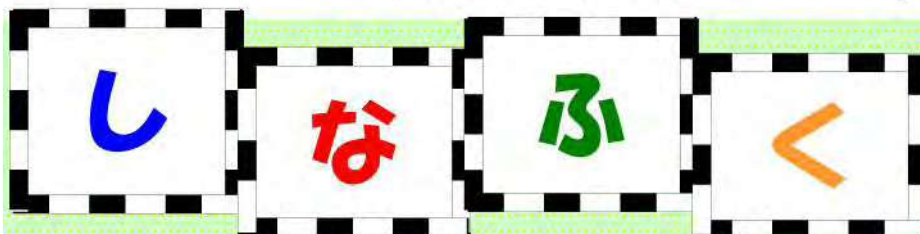


地域のお子さんから大人の皆様、施設利用者の大勢の参加、ありがとう！

のアカペラユニットXUXU(シュシュ)の皆さんが、楽しい歌を披露してくださいました。障害者スポーツボッチャの体験では子供はもちろん障害者の皆さんも楽しんでいました。模擬店は自治会の方にもご参加いただき、盛り沢山。会場には法人内施設の利用者の作品が数々飾られ、作品作りの実演を始め、利用者の皆さんが大勢参加し、地域の皆さんとの交流が深まった一日になりました。



ボッチャ体験で学び&楽しい時間！



さんぽ vol. 4

2017年より始めました企画「しなふくさんぽ」第四弾です！！
品川区の興味深い場所・旬な情報を、編集委員が足を運び取材し、
シリーズで年1回お届けしています。「しながわ歌留多」※の『く』の
文字札は、『黒船の 来航示す 台場跡』。今回は、黒船来航当時に
思いを馳せ、台場跡から坂本龍馬との関係についてご紹介します。

新年を迎えゆったり散歩してみたいはいかがですか？
また、しなふくさんぽ「し・な・ふ・く」いかがでしたか？ つづく？！



※スラップショット制作

一八五三年、ペリー

率いる黒船が東京湾の入口の浦賀に來航し開国を迫りました。目的は、アメリカが太平洋での捕鯨をより効率的に行うために寄港地が必要だったとも言われています。脅威を感じた幕府は、江戸に最も近



浜川砲台

い品川の守りを強固にするため、品川沖に台場（砲台）の建造を始めましたが、翌年には日米和親条約が結ばれ、戦の舞台となることはありませんでした。

「第三台場」は一边が百六十メートル四方の石垣と土塁によって守られています。「土塁」とは外側の攻撃から守るために設けられた防壁。高さは五〜七メートル。

その高さから要塞の強さを感じ取ることが出来ます。中は窪地となっていて、戦が行われた時には中で火薬を詰めなど戦うための準備などがされる場所となっていました。昭和三年に東京都によって整備され公園となり、貴重な台場跡地が見学できるようになっています。

土佐藩も下屋敷があった品川宿立会川の海辺に大砲8門を備える砲台を築いて異国船の再来襲に備え、「浜川砲台」とし、若き日の坂本龍馬もこの地で警備の任務に加わっていた説が残っているそうです。京急立会川駅を東側へ出てすぐ、北浜川児童遊園には京浜ロータリークラブから寄贈された坂本龍馬の像が建てられています。



坂本龍馬像



龍馬の足跡パン 可愛くて
おいしい！(カフェ・ロティエ)

また、皆さんは「龍馬の足跡パン」をご存知ですか？立会川駅前商店街にあるパン店「カフェ・ロティエ」で店長の渡辺茂さんが「江戸時代、龍馬が砲台へ行く途中にちやうど店の前を通り、足跡が残っているのではないか」と思っ



右足が「カスタードクリームパン」

左足が「こしあんパン」

どちらも140円！

ボランティア紹介

～中延特別養護老人ホーム 平石雄一さん～

「心より感謝申し上げます。」
中延複合施設では、たくさんの方の善意の贈り物をいただき、余暇活動の幅が広がります。



余暇活動の幅が広がります

な品物を定期的に寄贈下さっています。

頂いた将棋・囲碁・麻雀セツト等で、ご利用者の余暇活動の幅も広がり、施設の中に笑顔が溢れる時間が増えました。いつもご利用者の立場で、お一人おひとりの生活を考え、下さる、その時々に必要な物をお持ちいただいています。皆様の温かいお心遣いは、施設運営の大きな支えになります。平石様のご厚情にも、心からの感謝を申し上げます。これからも地域における福祉の拠りどころとして力を尽くして参りますので、近隣の皆様方には、これまで同様当複合施設を見守っていただければ幸いです。



外に出かける機会が増えそうです



みんなで作ったご飯は美味しいね

「大井三丁目高齢者憩いの場」にて毎週水曜日に開催されている地域ミニデイ「大井三丁目ゆうゆう」をご紹介します。利用対象者は、日常生活能力の低下が心配され、将来的に介護が必要になる可能性が高い方及び要支援一・二相当の方で自力通所が可能な六十五歳以上の高齢者を対象としています。定員は八名です。

この地域ミニデイは、介護予防事業日常生活事業であり、有償ボランティア等による介

大井三丁目高齢者憩いの場
「地域ミニデイ」をご紹介します



タオルを使つてのストレッチ体操

護事業として位置づけられていますので、ケアマネージャーによるケアプランが必要となります。利用者は午前中、午後を通して参加され、日常生活に必要な機能訓練を行っています。活動内容は、午前中は手工芸中心で塗り絵、折り紙、季節の飾りつけを行っています。昼食は各自持参され、最後の週は利用者の皆さんで昼食作りを行い、喫食されています。午後からは運動機能の維持に向け、ストレッチと転倒予防体操を行っています。参加者は毎週楽しみにされていて、身も心も軽くなつたと話されています。

パラリンピック 歴史と名称

二十世紀初頭から障害者スポーツの大会は記録されていますが、パラリンピックの起源は一九四八年のロンドンオリンピックの開会式と同日に、イギリスの病院で行われたストーク・マンデビル競技大会とされています。

この大会は、戦争で負傷した兵士たちのリハビリテーションとして「手術よりスポーツを」の理念



で始められたようです。当初は入院患者数名で行われていた大会も、



毎年開催していく中で、一九五二年に国際大会となり、第一回国際ストーク・マンデビル競技大会が開催されました。一九六〇年ローマで開催された第九回国際ストーク・マンデビル大会が、第一回パラリンピックと呼ばれています。

パラリンピックの語は元々、パラプレジア（脊髄損傷等による下半身麻痺者）とオリンピックの造語であったとされています。

一九八五年に「パラリンピック」を大会名として正式に認められました。すでに

に半身不随者以外の身体障害者も参加する大会となったことから、大会名の意味をギリシャ語のパラ（英語でパラレル（平行）とオリンピックと、もう一つのオリンピックと再解釈することとなりました。

ボランティア講座案内 「傾聴ボランティア講座」

心の声を聴くために、傾聴の基本的なことや体験談を学び、演習や事例検討を行ないます。傾聴等さまざまな聴く技法を学び、社会に役立てませんか？これからボランティアをはじめたいと思っている方、ボランティアをしているけれどステッパアップとして学びたい方、是非お申込をお待ちしています。

日時：令和二年二月六日（木）
八日（土） 13時～15時
場所：品川総合福祉センター
六階（品川区八潮五ー一）
内容：傾聴の基本・体験談・演習や事例検討など。
講師：古川繁子氏（クローバーの会主宰・植草短期大学フェロー）
申込締切：一月二十日（月）
電話：〇三ー三七九〇ー四八三九

しなふくの窓

品川区立心身障害者福祉会館の、生活介護のたんぽぽグループの居室は、建物の一階にあります。冬になると、居室と廊下の壁には雪が降った冬の街並み、天井からは雪の結晶が飾られます。天井につるした飾りは空調の風が当たるとゆらゆら揺れるので、横になって休まれている利用者にも楽しんでいただいています。たんぽぽグループの室内装飾は冬だけでなく、春夏秋冬によって変化していきます。利用者それぞれに季節を感じていただけるように、職員が工夫を行っています。



雪の結晶が光ります